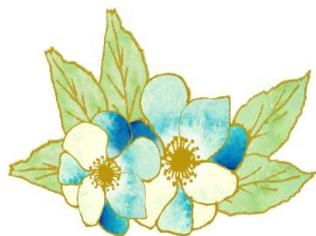


あなたが、友人や知人から
DVのことを相談されたら、
専門機関へ相談するように
すすめて下さい。



もし相談を受けたら、「よく話してくれましたね」という姿勢で被害者の話を丁寧に聞いてあげてください。
そして被害者のとった行動を非難しないでください。心身ともにダメージを受けている被害者は更に傷つきます。

どんな理由があるにせよ暴力は許されることではありません。
「あなたは悪くない」と伝えてください。



DVは犯罪となる行為を含む
重大な人権侵害です。

ひとりで悩まず お近くの窓口に相談してください

☆女性のための相談室

[高砂市男女共同参画センター]

電話相談 月～金 9:30～12:00
13:00～17:00

面接相談は予約制 tel 079-443-9134

☆DV等の相談

[兵庫県女性家庭センター]

電話相談 毎日 9:00～21:00
tel 078-732-7700

☆ストーカー・DV相談

[兵庫県警察本部]

電話相談 毎日 24 時間対応
tel 078-371-7830

☆高砂警察署生活安全課でも相談を受けています。

電話相談 毎日 24 時間対応
tel 079-442-0110

☆ひとり親家庭相談

[高砂市健康こども部子育て支援室子育て支援課]

電話相談 月～金 9:00～17:00
tel 079-443-9024
夜間相談（要予約）17:00～19:00

☆子育て相談

[こども家庭相談センター]

電話相談 月～金 9:00～17:00
tel 079-442-2260

☆加古川健康福祉事務所 こころのケア相談

[加古川健康福祉事務所・地域保健課]

tel 079-442-0003
（予約制のため申し込みは上記番号へ）

*相談は無料です。秘密は守られます。

発行 高砂市男女共同参画センター
高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号
Tel 079-443-9133
Mail cocot@city.takasago.lg.jp
発行日 令和7年4月1日

あなたや
あなたの身近にいる人は

DVについて 知っていますか？

DV（ドメスティックバイオレンス）とは、
配偶者または親密な関係にある又は
あった相手からの暴力です。
様々な暴力で相手を思い通りに支配し、
コントロールすることをいいます。



高砂市

暴力の種類

○身体的暴力

- ・たたく・ける
- ・物を投げる・殴る
- ・髪の毛をつかむ
- ・引っ張る
- ・突き飛ばす
- ・押さえつける
- ・刃物等凶器を向ける

○精神的暴力

- ・バカにする・おどす
- ・別れるなら自殺すると言ふ・無視する
- ・睨む・たたくまねをする
- ・あなたが大事にしているものを壊す

○社会的暴力

- ・人付き合いを制限する
- ・外出させない
- ・携帯をチェックする
- ・ネット上で誹謗中傷する
- ・浮気を疑う

○経済的暴力

- ・生活費を渡さない、使わせない
- ・借金を強要する
- ・仕事を辞めさせる
- ・「誰のおかげで生活できる」と言う
- ・収入を知らせない

○性的暴力

- ・性行為を強要する
- ・避妊に協力しない
- ・エッチな雑誌やビデオを見せようとする

○子どもを利用した暴力

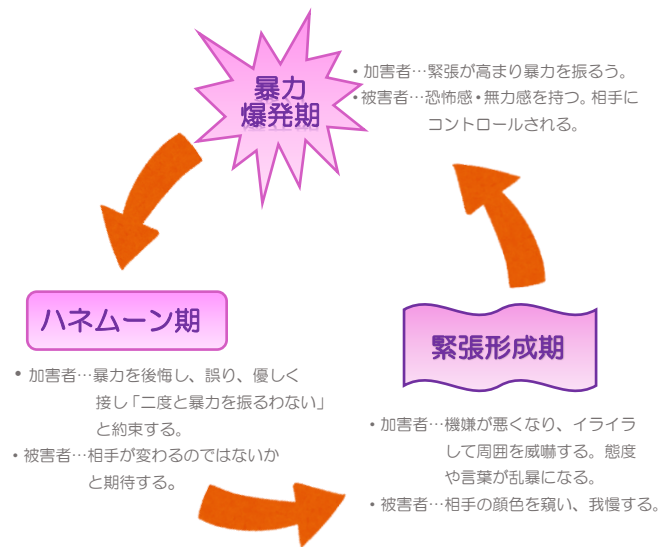
- ・子どもに暴力を見せる
- ・子どもに悪口をふきこむ
- ・子どもに暴力を振るう
- ・子どもを取り上げようとする

*ここに挙げた暴力はほんの1例です

子どもが暴力を見聞きすることは 児童虐待(心理的虐待)にあたります

子どもたちが直接暴力を受ける環境になくても、暴力を見聞きすること(面前DV)で、心理的及び身体的な症状が表れてくることがあります。例えば落ち着きがなくなり、勉強に身が入らなくなったり、自分は悪い子であると、自分を非難するようになっていたりします。また暴力的な人間関係を学んでしまい、大人になって自らが加害者になってしまうことがあります。DVは被害者が我慢すれば良いというものではありません。子どもへのケアも非常に大切です。

DVにはサイクルがあります

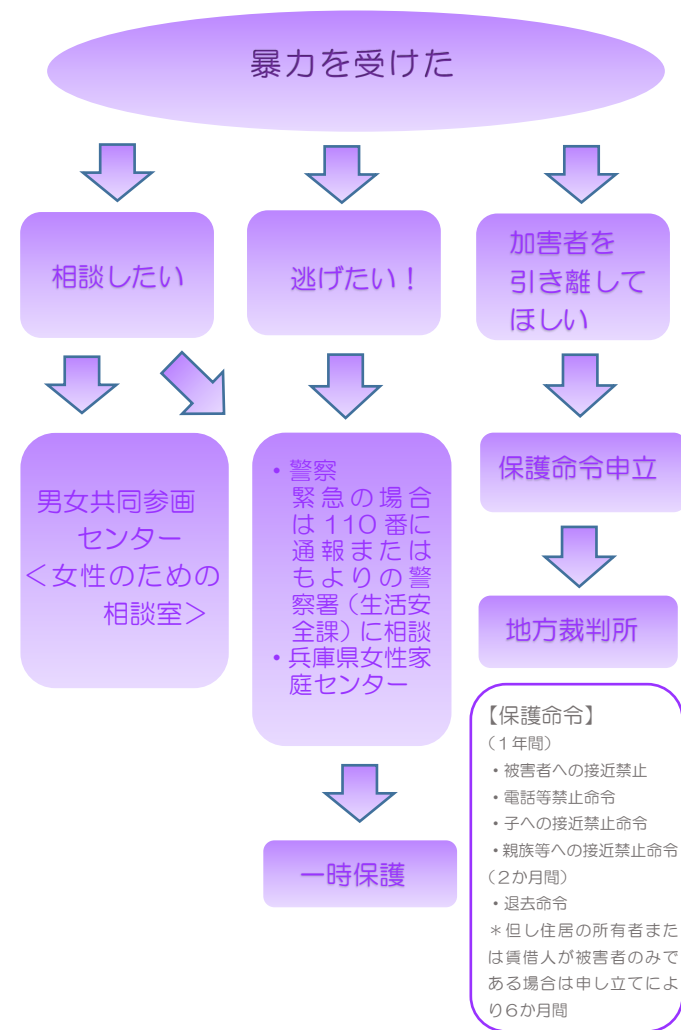


思い当たることはありませんか？

- ☐ パートナーを怖いと思う
- ☐ パートナーの機嫌が悪いと、自分に悪いところがあるのではと思ってしまう
- ☐ パートナーの言うことがおかしいと感じていても、黙って従う
- ☐ 子どもがパートナーの気に入らないことをしないように、必要以上に注意する
- ☐ 何を言っても無視され、口をきいてもらえない
- ☐ 自分の予定や居場所を必ず伝えている
- ☐ パートナーの前で、実家の親・きょうだい・友人と話せない
- ☐ 自分のことはいつも後回しである

不安や緊張、恐怖感や無力感を抱えながら生活すると心身に悪影響が生じます。

DV被害者支援の流れ



もしもあなたが身近な人からの暴力で悩んでいるなら、決して「私が悪いから・・・」と自分を責めないでください。
あなたは、安全に安心して生きる権利があります。

